

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム長沢壮寿の里	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 長谷川 忠司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員 53人) 在籍者数 48人(平成28年3月31日現在:入院等不在者を含む)																												
	<table border="1"> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>48</td> </tr> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	利用者数	1	1	7	19	20	0	48												
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																					
	利用者数	1	1	7	19	20	0	48																					
	②通所介護事業(通所定員 55人) (1)1単位(5～7時間(定員 30人):年間延べ利用者数 6,549人 :定員に対する稼働率70.6%)																												
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>562</td> <td>564</td> <td>582</td> <td>586</td> <td>536</td> <td>540</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>556</td> <td>530</td> <td>519</td> <td>524</td> <td>538</td> <td>512</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	562	564	582	586	536	540		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	556	530	519	524	538	512
		4月	5月	6月	7月	8月	9月																						
	延べ利用者数	562	564	582	586	536	540																						
		10月	11月	12月	1月	2月	3月																						
	延べ利用者数	556	530	519	524	538	512																						
(2)2単位(予防・ハワリハ)2～3時間(定員 15人):年間延べ利用者数1,339人																													
<table border="1"> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>120</td> <td>112</td> <td>127</td> <td>119</td> <td>105</td> <td>91</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>111</td> <td>109</td> <td>108</td> <td>105</td> <td>113</td> <td>119</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	120	112	127	119	105	91		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	111	109	108	105	113	119	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																							
延べ利用者数	120	112	127	119	105	91																							
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																							
延べ利用者数	111	109	108	105	113	119																							
(3)3単位(予防・ハワリハ)2～3時間(定員 10人):年間延べ利用者数389人																													
<table border="1"> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>35</td> <td>29</td> <td>39</td> <td>38</td> <td>28</td> <td>25</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>33</td> <td>36</td> <td>33</td> <td>30</td> <td>36</td> <td>27</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	35	29	39	38	28	25		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	33	36	33	30	36	27	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																							
延べ利用者数	35	29	39	38	28	25																							
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																							
延べ利用者数	33	36	33	30	36	27																							
③短期入所事業(通所定員 12人) 年間延べ利用者数4,161人:定員に対する稼働率 94.7%																													
<table border="1"> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>344</td> <td>344</td> <td>313</td> <td>297</td> <td>327</td> <td>334</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>310</td> <td>355</td> <td>356</td> <td>372</td> <td>394</td> <td>415</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	344	344	313	297	327	334		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	310	355	356	372	394	415	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																							
延べ利用者数	344	344	313	297	327	334																							
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																							
延べ利用者数	310	355	356	372	394	415																							
④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成28年3月分)																													
<table border="1"> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>管理者数</td> <td>36</td> <td>29</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>82</td> </tr> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	管理者数	36	29	9	2	5	1	82													
介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																						
管理者数	36	29	9	2	5	1	82																						

収支実績	①特別養護老人ホーム事業□ (収入)	<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>182,004,885</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>22,351,652</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>4,379,714</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>208,736,251</td> </tr> </table>	介護料収入	182,004,885	利用者等利用料収入	22,351,652	その他の事業収入	4,379,714	合計	208,736,251	(支出)	<table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>145,882,170</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>38,485,446</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>38,007,974</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>222,375,590</td> </tr> </table>	人件費	145,882,170	事業費	38,485,446	事務費	38,007,974	合計	222,375,590
	介護料収入	182,004,885																		
	利用者等利用料収入	22,351,652																		
	その他の事業収入	4,379,714																		
	合計	208,736,251																		
	人件費	145,882,170																		
	事業費	38,485,446																		
	事務費	38,007,974																		
	合計	222,375,590																		
			(収支差額)	▲ 13,639,339																
②通所介護事業 (収入)	<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>58,772,572</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>4,070,400</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>3,637,232</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>66,480,204</td> </tr> </table>	介護料収入	58,772,572	利用者等利用料収入	4,070,400	その他の事業収入	3,637,232	合計	66,480,204	(支出)	<table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>49,672,407</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>8,477,594</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>11,028,162</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>69,178,163</td> </tr> </table>	人件費	49,672,407	事業費	8,477,594	事務費	11,028,162	合計	69,178,163	
介護料収入	58,772,572																			
利用者等利用料収入	4,070,400																			
その他の事業収入	3,637,232																			
合計	66,480,204																			
人件費	49,672,407																			
事業費	8,477,594																			
事務費	11,028,162																			
合計	69,178,163																			
		(収支差額)	▲ 2,697,959																	
③短期入所事業 (収入)	<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>40,804,793</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>6,065,500</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>96,060</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>46,966,353</td> </tr> </table>	介護料収入	40,804,793	利用者等利用料収入	6,065,500	その他の事業収入	96,060	合計	46,966,353	(支出)	<table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>24,176,210</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>8,659,089</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>6,613,345</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>39,448,644</td> </tr> </table>	人件費	24,176,210	事業費	8,659,089	事務費	6,613,345	合計	39,448,644	
介護料収入	40,804,793																			
利用者等利用料収入	6,065,500																			
その他の事業収入	96,060																			
合計	46,966,353																			
人件費	24,176,210																			
事業費	8,659,089																			
事務費	6,613,345																			
合計	39,448,644																			
		(収支差額)	7,517,709																	
④居宅介護支援事業 (収入)	<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>16,600,694</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>799,388</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17,400,082</td> </tr> </table>	介護料収入	16,600,694	利用者等利用料収入	0	その他の事業収入	799,388	合計	17,400,082	(支出)	<table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>17,626,477</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>138,926</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>498,132</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18,263,535</td> </tr> </table>	人件費	17,626,477	事業費	138,926	事務費	498,132	合計	18,263,535	
介護料収入	16,600,694																			
利用者等利用料収入	0																			
その他の事業収入	799,388																			
合計	17,400,082																			
人件費	17,626,477																			
事業費	138,926																			
事務費	498,132																			
合計	18,263,535																			
		(収支差額)	▲ 863,453																	
(収入)	<table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>298,182,944</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>32,487,552</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>8,912,394</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>339,582,890</td> </tr> </table>	介護料収入	298,182,944	利用者等利用料収入	32,487,552	その他の事業収入	8,912,394	合計	339,582,890	(支出)	<table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>237,357,264</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>55,761,055</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>56,147,613</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>349,265,932</td> </tr> </table>	人件費	237,357,264	事業費	55,761,055	事務費	56,147,613	合計	349,265,932	
介護料収入	298,182,944																			
利用者等利用料収入	32,487,552																			
その他の事業収入	8,912,394																			
合計	339,582,890																			
人件費	237,357,264																			
事業費	55,761,055																			
事務費	56,147,613																			
合計	349,265,932																			
		(収支差額)	▲ 9,683,042																	

サービス向上の取組	<p>特別養護老人ホームについては、利用者の生活の質向上、維持のために、現行のサービス提供の見直しを行い、利用者一人ひとりの尊厳を尊重した個別ケアの向上に取り組み、個々の利用者に見合った対応を、職員によって差が生じないよう留意しながら、ケアの質の標準化に努めている。また、今年度から定期的に理学療法士の評価、指導を受け、安楽な姿勢保持や日常生活動作(ADL)の維持向上のためのケアを介護職員と共に実践できる体制を整えている。</p> <p>短期入所においては、介護者である家族の変化にも注視しつつ、関係機関と連携しながら緊急的な受け入れを行うとともに、定期に利用している方の家族の体調不良などによる突発的な利用要望にも対応している。</p> <p>通所介護では、パワーリハビリテーションのマシン導入という特色を活かし、希望者にはマシントレーニングを導入するなど利用者のニーズに応じた支援を行いながら日常の活動の充実に繋げている。また、最期まで自宅で過ごしたいと望む方の希望を受け入れ、他機関との連携を密に図りながら、希望どおりお亡くなりになる直前までデイサービスの利用を可能とした実績がある。</p>
-----------	--

### 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
感染症への対策は適切に行われているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>特別養護老人ホームでは、利用者一人ひとりの尊厳を尊重した個別ケアの向上に取り組み、個々の利用者に見合ったケアを常に心がけ、通所介護では、利用者の希望を踏まえながら、パワーリハビリのマシン活用機会を増やすなど、日常の活動内容の充実に繋げ、利用者からも好評を得ている。ボランティアの受け入れを積極的に行い、その数は年間2,162人、年に一度ボランティア交流会を開催し、ボランティアの意見、提案を聞き入れながら、サービス向上の参考としている。</p> <p>特別養護老人ホームでは、内科、精神科の嘱託医と看護職員及び介護職員が連携し、利用者の一日の様子をきめ細やかに観察することで体調の変化や病気の早期発見に繋げ、また、年に1度、協力病院から機材を運び入れ、医師、看護師の派遣を受け、入居者の健康診断を行っている。</p> <p>感染症予防対策マニュアルに従い、手指消毒やうがいの徹底、職員は、インフルエンザの感染症発生期間はマスク着用の徹底を図り、ポケットに入る程度の手指消毒ボトルを携帯し利用者自ら手指消毒に努め、感染症予防に努めている。また、感染症対策の実技研修をし、知識だけではなく、実践できる技術の向上に努めている。</p> <p>講師を招いての内部研修においては、今年度からは近隣施設等にも参加を呼びかけるなど、地域への貢献にも努めている。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	2	2
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	4	4
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>職員の労働災害の防止及び業務の負担軽減の観点から、川崎市経済労働局より福祉製品導入補助金を受け、福祉用具を購入、業務の効率化と職員の安全に繋げている。</p> <p>経費削減についての取組として、光熱水費については無駄が生じないようこまめな管理を努め、前年度と比べ電気料金が130万円、ガス料金については約250万円を削減した。また、収入に関しては、特別養護老人ホームと短期入所において、「夜勤職員配置加算」を算定するなどにより、施設の安定運営に向けた取組を行っているが、収入見込みを下回る状況にある。</p> <p>施設会計と利用者預かり金については、それぞれ別の担当者を配置し、明確に区別し厳重に管理している。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	3	6
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	3	6
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>特別養護老人ホームでは、重度の方を優先的に受け入れるようにし、個別ケアの向上に取り組み、ケアに職員によって差が無いようにケアの標準化に努めている。また、「権利擁護」に重点的に取組み、自己点検シートの活用により職員の資質向上等にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>通所介護では、ケアプランに従って、筋力低下を予防するためにパワーリハビリテーションのマシン利用を増やし、利用者からも好評で、稼働率向上にも繋げている。</p> <p>短期入所では、継続した緊急受け入れ可能な体制を整備し、家族のニーズに合わせた入退所の時間調整等、柔軟な対応を実践した結果、目標稼働率を達成している。</p> <p>また、事業ごとに利用者満足度調査を実施し、通所介護においては、「もっと運動を取り入れてほしい」との要望を受け、ケアプランに基づき、必要な方にはパワーリハビリのマシントレーニングに参加してもらい、利用者の満足度の向上に努めている。</p> <p>苦情等に関しては、「苦情・相談対応フロー」にもとづき適切に対応しており、苦情受付窓口となる職員は契約書、重要事項説明書に明記するとともに写真を施設内に掲示し、担当者不在時は別の職員が適切に対応できるよう体制を整備に努めている。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
		安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4
	事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か				
コンプライアンス	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。	5	4	4	
	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか				
		個人情報の管理は適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>毎月1回、主任以上の職員による運営会議を開催し、施設の運営課題について検討を重ねている。</p> <p>嘱託医については、認知症、看とり介護等に備え、精神科、内科の嘱託医を配置し、また、介護職員については重介護に対応するため負担増となる時間帯に短時間勤務職員を確保するため、基準より6名加配している。</p> <p>施設内に研修委員会を設け、年に6回開催し、研修計画を立て、研修の実施状況をチェックしながら必要な研修を適切に受講できるよう調整している。内部研修では、新規採用職員には年度開始時に法人が作成したマニュアルに沿って研修を実施し、また、法人が作成した職務基準にはコンプライアンスに対する取り組み事項が階層別に記載されており、職員は契約職員を含め、この職務基準に則り業務を遂行している。契約職員を含む新規採用職員と異動職員については、施設の運営方針、服務規律、福祉施設の職員として必要な法令遵守、個人情報保護、虐待防止、事故防止、感染症対策などの研修を実施している。緊急時の安全管理マニュアルとフローは、年に一度、チェックの機会を設け、更新し、連携病院の一覧や緊急対応時の連絡先などは変更があれば速やかに書き換え安全管理に努めている。また、事故対策として、誰でも同様の対応できるようにマニュアル、対応フローを定め備え、また、事故発生後の振り返り、原因検討等を実施、関係者で共有し、再発防止を図っている。</p>					
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>施設設備の管理、警備、清掃業務については、併設されている高齢社会福祉総合センターと合同で建物及び施設の維持管理を行っており、定期的に関係者による庁舎管理会議を開き、施設の計画的な修繕及び維持管理に努めている。</p> <p>特別養護老人ホーム、通所介護、居宅介護支援、それぞれで業務日誌を作成し、各記録や日誌は鍵のかかる書庫に保管、また、食分量や水分量などについては携帯端末を利用した記録を行い、業務の合理化に努め、各種記録にはパスワードを設定するなど厳重に管理している。</p> <p>施設の車いすは、多様に揃え、利用者に合ったものを提供できるよう配慮しており、故障、修理については、業者やボランティアの協力を得ながら随時対応し、安全管理にも努めている。</p>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>今年度から理学療法士の評価、指導を導入し、安楽な姿勢保持や日常生活動作(ADL)の維持、向上に向けた取組を関係職員により検討するなど、サービス向上に努めている。また、施設内における研修実施に当たっては、近隣施設、法人に参加を呼びかけるなど地域への貢献を意識した取組を図っている。施設の運営に当たっては、大変多くのボランティアの理解、協力を得ながら、地域交流にも力を注ぐなど、地域との信頼関係の構築、維持に積極的にも取り組んでいる。</p> <p>職員の負担軽減を図るために介護ロボット等を導入するなど、職員の定着等に配慮した施設運営を図っている。</p>
--

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし
---------